

予 算 要 求 資 料

令和3年度12月補正予算 支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

事業名	新	検査促進事業費補助金
------------	----------	-------------------

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部感染症対策推進課 ワクチン・検査パッケージ検査対策チーム

電話番号：058-272-1111 (内 4720) E-mail: c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 8,309,000 千円 (現計予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	8,309,000	8,309,000	0	0	0	0	0	0	0
決 定 額	4,209,000	4,209,000	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新型コロナウイルス感染症の感染対策と日常生活の両立を図るため、ワクチン接種証明書か、検査の陰性証明書を活用することにより、行動制限を緩和する「ワクチン・検査パッケージ制度」の利用定着の促進を図る必要がある。

(2) 事業内容

「ワクチン・検査パッケージ」等の利用を促し、検査の受検を浸透させるために、健康上の理由等でワクチン接種が出来ない者の検査を無料で実施するために、検査を実施する薬局や衛生検査所等に対し、補助金を交付する。感染拡大の傾向が見られる場合には、都道府県知事の判断により、自己の意思に基づく未接種者、ワクチン接種者を含め、幅広く感染不安などの理由による検査費用についても、同様に補助金を交付する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国 10 / 10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	8,309,000	検査費用及び検査体制整備の補助金
合計	8,309,000	

決定額の考え方

国の予算の状況を踏まえ、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」に基づく。

(2) 国・他県の状況

全国一律に制度化させる予定。

(3) 後年度の財政負担

「ワクチン・検査パッケージ等定着促進事業（仮称）」は、令和3年度内限りとなるが、「感染拡大傾向時の一般検査事業（仮称）」は、後年度にも実施予定。

(4) 事業主体及びその妥当性

感染対策と日常生活の両立を図るためには妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 「ワクチン・検査パッケージ」等の利用を促し、検査の受検を、来年3月までに浸透させ、感染拡大傾向時の感染者早期発見できる体制を構築させる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H)	(H) (H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H) (H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

「ワクチン・検査パッケージ」等の主となる対象者は、健康理由等のワクチン未接種者であるため、指標化にそぐわない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価)	<p>感染防止と日常生活の両立を図り、停滞していた経済活動を活発化させることは喫緊の課題であり、本事業により検査体制を構築する事業の必要性は高い。</p> <p>○</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 無し
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	